

用語解説※五十音順

用語	解説
イージーエフアール eGFR	Estimated Glomerular Filtration Rateの略で、「推算糸球体ろ過量」のこと。 血清クレアチニン値と年齢と性別から計算するもので、腎臓にどれくらい老廃物を尿へ排泄する能力があるかを示し、この値が低いほど腎臓の働きが悪いということになる。
エイチディーエル HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓へ戻し、動脈硬化を抑える。善玉コレステロールと呼ばれる。
エルディーエル LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると血管壁にたまり動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロールと呼ばれる。
拡張期血圧	心臓が拡張した時、血管が元の太さに戻りながらかかる圧(最低血圧)。
後発医薬品 (ジェネリック医薬品)	先発医薬品の特許が切れた後に発売される、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効果を持つ医薬品のこと。
国保データベース(KDB) システム	国民健康保険団体連合会が、保険者の委託を受けて行う各種制度の審査支払業務及び保険者事務共同電算業務を通じて管理する「特定健診・特定保健指導」、「医療(後期高齢者医療を含む)」、「介護保険」等に係る情報を活用し、統計情報等を保険者向けに情報提供することで、保険者の効率的かつ効果的な保健事業の実施をサポートすることを目的として構築されたもの。
シーケーディー CKD	Chronic Kidney Diseaseの略で、「慢性腎臓病」のこと。 腎臓の働きが、健康な人の60%以下に低下(eGFR値 $>60\text{ml}/\text{分}/1.73\text{m}^2$)か、あるいはタンパク尿が出るといった腎臓の異常が続く状態のこと。
脂質異常症	血液中の脂質の値が基準値から外れた状態のこと。脂質の異常にはLDLコレステロール、HDLコレステロール、トリグリセライド(中性脂肪)の血中濃度の異常がある。
収縮期血圧	心臓が収縮して血液を送り出した時の血管への圧(最高血圧)。

人工透析	腎臓の働きを人工的に補う治療法。 病気などの影響で正常に機能しなくなった腎臓の代わりに、透析装置を用い、血液中の老廃物や余分な水分を取り除く。
診療報酬明細書(レセプト)	患者が受けた診療について、医療機関や保険薬局が、保険者(市町村や健康保険組合等)に請求する医療報酬の明細書のこと。各月に実際に行った診療内容と個々の診療行為に要した費用の額を記入する。
生活習慣病	食事や運動・喫煙・飲酒・ストレスなどの生活習慣が深く関与し、発症の原因となる疾患の総称。
ナッジ理論	行動科学に基づいた小さなきっかけで人々の意思決定に影響を与え、行動変容を促す手法・戦略。
ビーエムアイ BMI	Body Mass Indexの略で、「ボディマス指数」「体格指数」等と呼ばれ、体重と身長から算出される肥満度を表す指標。
標準化死亡比	基準死亡率(人口10万人対の死亡数)を対象地域に当てはめた場合に、計算により推測される死亡数と実際に観測された死亡数とを比較するもの。
ヘモグロビンエーワンシー HbA1c	赤血球中のヘモグロビンのうちどれくらいの割合が糖と結合しているかを示す検査値。過去1～2ヶ月の平均的血糖値を反映するとされ、糖尿病の早期発見や血糖コントロール状態の評価に有用である。
法定報告	特定健康診査・特定保健指導の実施状況報告のこと。 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、社会保険診療報酬支払基金に対し、毎年度、特定健康診査や特定保健指導の実施状況に関する結果を報告する。
メタボリックシンドローム	「内臓脂肪症候群」とも呼ばれる。 日本内科学会等内科系8学会が合同で示した診断基準では、腹囲(男性85cm、女性90cm以上)、に加え、3項目(血中脂質、血圧、血糖)のうち2つ以上の項目に該当する者をメタボリックシンドロームの疑いが強く疑われる者としている。 また、腹囲(男性85cm、女性90cm以上)と3項目(血中脂質、血圧、血糖)のうち1つに該当する者をメタボリックシンドローム予備群と考えられる者としている。